

データサイエンス学修プログラムについて

三重大学データサイエンス教育の目標設定

データ^{ていねい}を丁寧^{ていねい}に扱うことができる 人材を育てる

丁寧とは？ ~いろいろな意味が含まれます

- ・ データの持つ意味を理解し、それを歪める(誇張などをする)ことなく「見える化」できる
- ・ データを注意深く眺め、主観的・短絡的な判断をしない(データに基づいて客観的に判断)
- ・ 妥当な手法で分析に値する有用なデータを収集し適切に活用できる
- ・ 倫理的な問題(個人情報保護・被験者の権利など)に対して適切に対応できる
- ・ AIなどを自らの知見に基づいて不安なく活用し、人間中心の判断・データ活用ができる

これらの理念に基づいて、各学部でそれぞれの特色を活かしたデータサイエンス教育目標を設定しています。

自身の専門分野を中心にデータサイエンス利活用の全体像をとらえることができ、様々な分野の方々とのプロジェクトの中で異分野融合(橋渡し)ができる人材(人財)を育てるのが理想です